

ビジネス統合により Seagate の滑り出しは好調です

SEAGATE TECHNOLOGY

企業プロフィール

パーソナルコンピュータ、ハイエンドサーバー、一般向け電子機器用ハードディスクドライブのメーカーです。

事業

ハイテク製造業

地域

世界各国

実装の概要

Seagate Information Bus は、多種多様なアプリケーションやシステムを統合し、注文管理を自動化する

Seagate Business Exchange は、100 を超える取引先とトランザクションデータを交換するための XML ゲートウェイを提供する

my.seagate.com ポータルを通じて、顧客や従業員は **Seagate** のリソースにアクセスできる

顧客の要求実現のポイント

統合を支持するビジネスリーダーを連合させる

インフラストラクチャの使用を推進するために内部能力センターを創設する

変革は、発見、評価、試験、修正を必要とし、一朝一夕には達成できないものであることを理解する

柔軟性とスケーラビリティがあり、かつオープンなアーキテクチャに基づくテクノロジーソリューションを展開する

IT と LOB により、短期目標と長期目標を設定する

利点

すべての注文を全社的にリアルタイムで見ることで、**Seagate** の処理効率と顧客サービスが向上する

新しいシステムを迅速かつ簡単に統合できるため、**Seagate**、その顧客、および取引先の急速な成長が可能になる

信頼性のあるシステムは、トランザクションの量が年間で **160%** 増加しても、それに対処できるように拡張する

関係改善により顧客満足度が向上する

供給業者への費用が低減する

Seagate はパーソナルコンピュータ、ハイエンドサーバーおよび一般向け電子機器用に設計されたハードディスクドライブの磁気ディスクおよび記録再生ヘッドの世界的一流メーカーです。この会社は記憶装置のあらゆる主要部品を設計、開発、生産、出荷しているため、そのビジネスのあらゆる面を掌握しています。2002 会計年度第三四半期、**Seagate** は 1500 万台を超えるディスクドライブを出荷し、これは同社の新記録となっています。

1990 年代末になると、パーソナルコンピュータ業界では販売利益が縮小し、製品のライフサイクルが短くなりました。価格は落ち込み、競争が激化しました。有益な製品を市場に提供して当時すでに市場のリーダーとなっていた **Seagate** は、競合相手より優位に立ち続ける最善の方法は、従業員、顧客、供給業者、取引先間のプロセスを改善することにより、業務や意思決定を合理化することだということに気づきました。

情報が自由に流れることにより、関係やプロセスが改善する

合理化策を成功させるには、**Seagate**、サプライチェーン、ならびに顧客および取引先と **Seagate** とのネットワーク全体にわたって情報が自由に流れ、リソースに自由にアクセスできるようにする必要があります。

特に、**Seagate** では、データを必要とするアプリケーションに、そのデータを自動的に供給するリアルタイム処理を採用する必要がありました。その答えは、すべてのアプリケーションおよびシステムを統合し、主要なビジネスプロセスを Web へと移すことでした。

Seagate のビジネスへの最初の注文は注文管理システムの改善でした。

Seagate 最高経営責任者である **Steve Luczo** は、以前のシステムでは手動入力が非常に多かったため、注文の記録が遅れがちで、全く記録されないこともあったと述べています。

「当社ではシンガポールでドライブを作り、税関手続きをして、アムステルダムに出荷し配送していました。

ドライブは、IT システムがその注文を記録する前に生産フロアを離れ、物理的にはアムステルダムにあったのです。注文品が分からなくなってやり直さなければならぬこともありました。お客様や取引先に常に正確な情報を提供することが必ずしもできるとは限りませんでした。」と **Luczo** は述べています。

この問題を解決するために、**Seagate** は注文管理システムを構成する多数のアプリケーションを統合する必要がありました。アプリケーションを統合すれば、人の介入による遅れが生じることなく、1 つのアプリケーションから他のアプリケーションに情報を確実に移動できるようになります。統合されたデータベースはすべてのアプリケーションおよびシステム用のリアルタイムデータソースとなります。そしてそれは、取引先、顧客、供給業者がシームレスにつながり完全に Web 対応の企業になるという次のステップの基礎を作ります。

Web を介してリアルタイムデータにアクセスするには、増え続ける情報のニーズとトランザクションの量に合わせて拡張することができる実証済みのソリューションが必要でした。**Seagate** はまた、世界各地に存在する多数の自社システムと接続できる、柔軟性があり、オープンなアーキテクチャに基づくテクノロジーを必要としていました。

Seagate は統合の開祖のテクノロジーを選択

Seagate は、ビジネス統合ソリューションを備えるために、**TIBCO Software** を選びました。**TIBCO** の商品が幅広く、スケーラビリティがあり、エンドツーエンドの統合に成功したという確固たる評判を得ていたからです。

「**TIBCO** は、他に類を見ないような経験と、幅広い製品ラインを持っています。**TIBCO** のソリューションが市場で最も成熟安定しているということが我々にはわかっていました。」と **Luczo** は述べています。

Seagate は、TIBCO ビジネス統合・ソリューションを実装して、多種多様なアプリケーションおよびシステムを統合するプラットフォームである Seagate Information Bus を作成し、世界中の人々がごく最新の情報にアクセスでき、リアルタイムで通信できるようにしました。配備は迅速に行なわれ、その後、注文品が分からなくなったり遅れたりすることはあつという間に過去のこととなりました。Seagate は TIBCO のソリューションを使ってその他の多くの厄介なビジネスの問題を解決できることに気づいたのだと Luczo は述べています。

「TIBCO ソリューションをインストールした後で、統合情報システムの新しい使用法が浮かんできました。」と、Luczo は述べています。「TIBCO が与えてくれる柔軟性によって、我社のビジネスのやり方を改善する新しいアイデアが数多く生み出されました。」

注文管理プロセスを合理化した後、この会社は TIBCO のビジネス間統合プラットフォームを使って、Seagate Business Exchange を構築しました。今では、自動注文入力により、人の手によるミスや、以前の手入力に要していた時間が削減できます。また Seagate Business Exchange は、Seagate の取引先とトランザクションデータを交換するためのゲートウェイを提供し、在庫、注文および出荷をリアルタイムで調査できるようにしています。Seagate はまた、TIBCO 企業ポータルプラットフォームを使って、従業員および顧客を、インターネットを介して同社の情報ネットワークにつなぎます。サプライチェーンへのさらなる便宜をはかるために、Seagate では、Web ベースのアクセスを同社の持つ供給業者ネットワークにまで広げる予定です。

Seagate の効率は顧客に分岐点を与える今では Seagate の製造および配送プロセスはより効率的になっているので、同社の顧客は大きな利益を得ています。Seagate は現在、製品注文、価格照会、貸付状況確認、注文品の追跡、担保評価、企業ニュースの調査を行なうための 1 つのリソースを顧客に提供しています。Seagate では、顧客がリアルタイム情報を使って自社のビジネスプロセスをより効率的に行なえるようにしているため、これらの OEM 業者や流通業者は自社の製品をより迅速に市場に出すことができます。この知識は Seagate の顧客に、各自の市場での競争力をもたらしています。

サプライチェーンの強化により、供給業者の費用が低減

Seagate は重要なデータにリアルタイムでアクセスできるため、供給業者の効率向上に力を貸すことができます。TIBCO をベースとしたソリューションは注文品を正確に追跡することができるので、Seagate の供給業者は、以前より在庫管理費用を抑えることができます。Seagate は今後、TIBCO のプラットフォームを Stop Ship Automation プロジェクトのバックボーンとして使用することにより、自社のサプライチェーンをより効率的にする予定です。

リアルタイムの統合により、Seagate の競争力が維持される

TIBCO のソリューションにより、Seagate はビジネスを大変革することができました。第一に、統合は、管理費用および IT 費用を画期的に削減する自動化プロセスへの道を整えました。第二に、今では Seagate の情報インフラストラクチャは、柔軟性のあるオープンなアーキテクチャに基づいているため、プラットフォームに接続するだけで新バージョンにアップグレードしたりシステムを追加したりできるようになっています。「我々は、もはや新しいアプリケーションを統合するために何十人という IT 要員を数週間に渡って配置しなくてもよくなりました。新しいアプリケーションを TIBCO プラットフォームにプラグインすれば、新しいアプリケーションはネットワーク上のどのアプリケーションとも通信できます。Seagate は、この機能を活用して、IT による制約を全く受けずに、成長できるのです。」と Luczo は述べています。Luczo はさらに次のように付け加えています。「実際に、Seagate では、トランザクションの量が年間 160% ほど増え続けていますが、性能には全く問題がありません。」

顧客および取引先との連絡がより効果的に行なえるようになったため、Seagate との取引はより快適なものとなりました。実際に、2002 会計年度第三四半期、Seagate のパーソナルコンピュータ市場でのシェアは 31% に、企業システム市場でのシェアは 58% に増加しました。「作業効率を上げ、顧客および取引先に我社の価値を更に提案し、リアルタイムの、Web 対応の企業となるための取り組みの中で、我々は Seagate ブランドの活性化も行ないました。」と Luczo は述べています。Luczo はさらに、「これらの利益は、のるかそるかの市場での大手企業にとって最も重要な使命である他社との差別化ということをも可能にしてくれます。」

テクノロジー

ソリューションの概要

TIBCO ActiveEnterprise™ ビジネス統合ソリューションは、包括的な企業アプリケーション統合 (EAI) 機能およびビジネスプロセス管理 (BPM) 機能を提供することにより Seagate Information Bus を強化します。このソリューションは、Seagate の多種多様なアプリケーションおよびシステムを統合し、26 台を超える Sun サーバー上にある 46 の Oracle データベース間で、世界規模の注文処理システムをサポートします。このソリューションは、新しいアプリケーションおよびシステムをプラグアンドプレイで統合できる Seagate Information Bus に共通のメッセージ送信プラットフォームと基礎を提供します。

TIBCO ActiveExchange™ ビジネス間統合プラットフォームは、堅固なセキュリティと高度な取引先管理を提供することによって、Seagate Business Exchange を強化します。このプラットフォームは、XML ゲートウェイを通じて Seagate の 100 を超える取引先を統合し、トランザクションデータをリアルタイムで交換できるようにします。このプラットフォームはまた、サードパーティロジスティクスを用いてベンダーが管理する在庫プロジェクトにも使用されています。

TIBCO ActivePortal™ 企業ポータルプラットフォームは、企業、事業部門、および製品の性能に関する個人用にカスタマイズされたリアルタイムな情報を Seagate の従業員に提供します。このため、種類の異なる多数の Web サイトが統合され、Seagate の従業員により生産的で正確な情報を伝えられるようになります。TIBCO ActivePortal はまた、取引先や供給業者のポータルの強化も行なっており、サービス費用の低減につながっています。



日本ティコソフトウェア株式会社
〒101-0032 東京都千代田区岩本町
2-3-3 友泉岩本町ビル3階
TEL: 03-5835-3537
FAX: 03-5835-3522

TIBCO、TIBCO のロゴ、The Power of Now、および TIBCO Software は、TIBCO Software Inc. の米国および (または) その他の国における商標または登録商標です。本書に記載されているその他のすべての製品名、社名、および商標は各所有者が所有権を有するものであり、識別のためにのみ記載されています。
© 2002, TIBCO Software Inc. 著作権所有